

2018年10月17日

各 位

会社名 株式会社ワールド
代表者名 代表取締役 社長執行役員 上山 健二
(コード番号: 3612 東証第一部)
問合せ先 グループ常務執行役員 中林 恵一
(電話番号: 03-6770-2198)

2019年3月期 第2四半期(累計) 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2018年9月28日に公表しました「東京証券取引所市場第一部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」において開示した、2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期 第2四半期(累計) 業績予想数値の修正(2018年4月1日~2018年9月30日)

	売上収益	コア営業利益	営業利益	税引前 四半期利益	四半期利益 (親会社の所有者に帰属)
前回発表予想(A)	百万円 117,494	百万円 5,987	百万円 4,618	百万円 3,748	百万円 2,106
今回修正予想(B)	117,100	6,150	5,900	5,100	3,300
増減額(B-A)	△394	163	1,282	1,352	1,194
増減率(%)	△0.3	2.7	27.8	36.1	56.7
(参考) 前第2四半期実績 (2018年3月期 中間連結会計期間)	115,493	6,095	5,817	4,783	2,900

(注) 1. 当社グループは国際会計基準(IFRS)に基づいて連結財務諸表を作成しております。

2. コア営業利益は、IFRSにおける売上総利益から販売費及び一般管理費を控除した数値であり、日本基準における営業利益に相当する指標であります。当該財務指標は、国際会計基準により規定された指標ではないものの、当社グループが本業の稼ぐ力として最重視する指標であり、投資家にとっても当社グループの業績を評価するために有用であると考えております。

2. 修正の理由

2019年3月期第2四半期連結累計期間における当社グループの売上収益は、M&Aの連結加入効果もあって前年同期比1.4%増の見通しながら、9月の二度の台風等による店舗休業の影響などによって、前回発表予想より0.3%減の117,100百万円と若干の未達になる見込みです。

売上総利益率は、前回発表したとおり、大阪北部地震や西日本豪雨といった一過性の要因等を背景に、当シーズン商材の在庫調整の必要性から値引き販売を強化した影響を受けましたが、人件費を中心とした経費支出の継続的な見直しが奏功し、経費削減が粗利益の減少を補える見通しです。

結果として、コア営業利益は前回発表予想比2.7%増の6,150百万円が見込まれ、前年同期に対しては0.9%増と僅かながら増益へ転換する見込みとなりました。

また、その他の収支（その他の収益・その他の費用）においては為替差益の計上に加えて、固定資産除却損といった経常的に発生する費用も低減できたことから、営業利益は前回発表予想を27.8%上回る5,900百万円（前年同期比1.4%増）となる見込みです。

更に、金融収支（金融収益・金融費用）ではリファイナンス費用の減少に加えて、優先株式の償還や借入金の返済に伴う支払利息の負担軽減が進んだことから、税引前四半期利益は前回予想を36.1%上回る5,100百万円（前年同期比6.6%増）となる見込みであり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前回予想比56.7%増の3,300百万円と前年同期に対しても従来の減益予想から一転して13.8%増益を達成する見通しです。

以上のとおり、当社グループの業況は堅調に推移しており、また、当下半期も引き続き収益力の向上に努めてまいる所存です。ただし、当社グループの収益は下半期が上半期より大きい特性であるうえ、今後の消費動向等は現時点で不確定要素もあることから、通期の業績予想については前回発表予想を据え置かせていただきます。

以 上